



# ブランドガイドライン

# 01 Dtto ロゴマーク

---

Dtto のロゴマークは私たちのブランドにとって、とても重要な資産です。

ロゴマークは企業の性質や特徴であり、ブランドのアイデンティティーを表すものなので、最高のクオリティーを常に保つため、必ず統一された規定に従ってください。

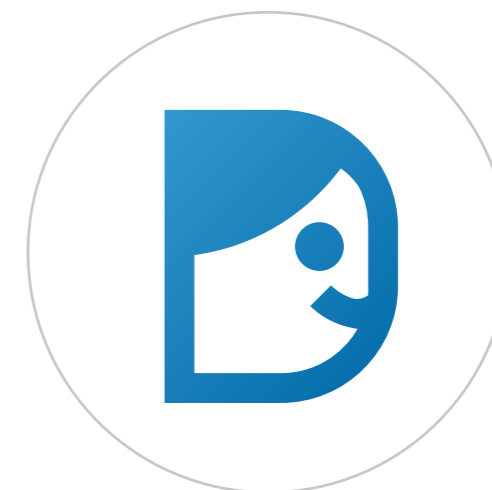
## A. 標準ロゴマーク



## B. アプリアイコン



## C. アプリアイコン



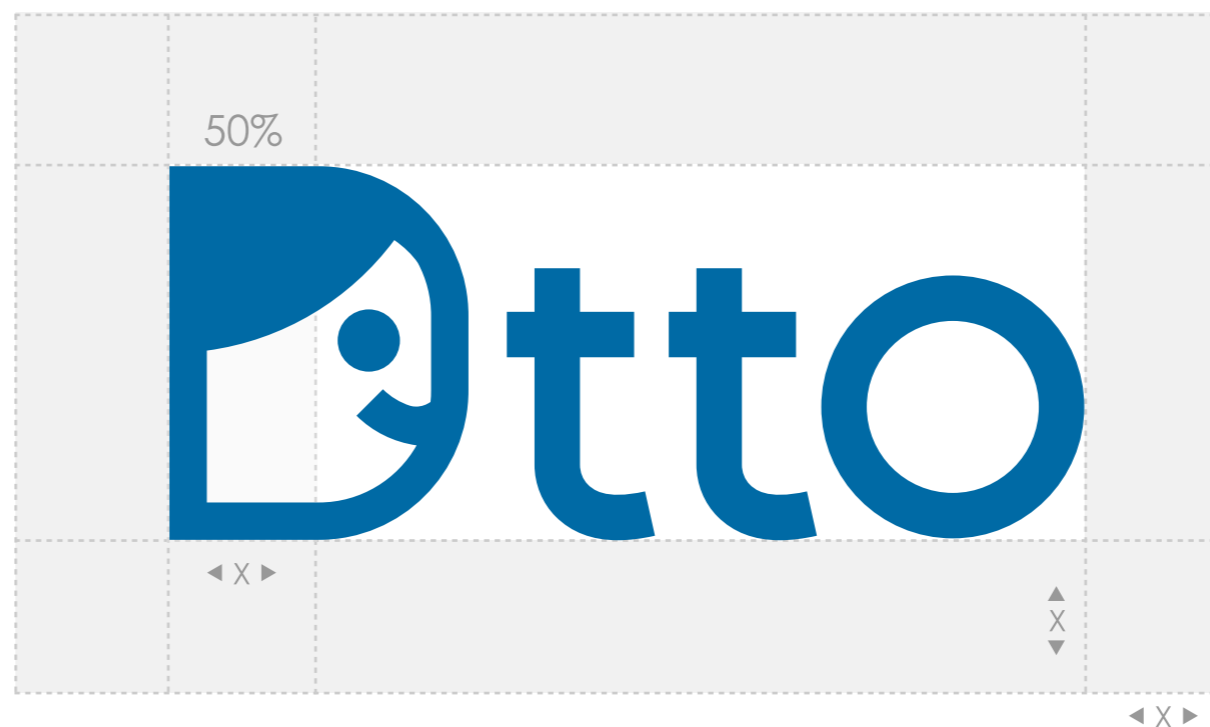
# 02 余白、使用可能な最小のサイズ

Dtto ロゴマークの鮮明さを保つため、ロゴマークと他の素材の間は規定の距離を保ってください。規定の範囲内では、あらゆる文字、イラスト、写真等を挿入しないでください。

余白の範囲はロゴマーク最初の D の文字の半分の幅です。

使用時に、不鮮明で見えにくい等の不具合がないよう、規定の最小サイズよりも小さいロゴマークは使用しないでください。

## A. 規定の範囲



## B. 最小のサイズ

64 px / 17mm



48 px / 13mm



48 px / 13mm



# 03 ログマーク背景組み合わせ形式

ログマークの鮮明さを保つため、背景が白色または薄めの色の際は標準タイプのログマークを、背景が濃い色の場合は白色のログマークを使用してください。



| ログマーク標準タイプ #006AA6



| ログマーク(紺) + 背景(白) #00324E



| ログマーク(白) + 背景(青) #006AA6



| ログマーク(白) + 背景(紺) #00324E

# 04 ブランドカラー

---

Dtto のブランドイメージカラーは青色です。視覚情報からは強い印象を与えることができます。それぞれの電子設備ではRGB数値を、印刷機器ではCMYK数値を使用してください。

RGB 0 106 166

HEX #006aa6

CMYK 100 36 0 35



75%

50%

25%

# 05 ブランドサブカラー配色

ブランドのイメージに支障なく違いをつけるため、規定のサブカラーは標準ブランドカラーと組み合わせて使用できます。

RGB 0 50 78

HEX #00324E

CMYK 100 36 0 70



75%

50%

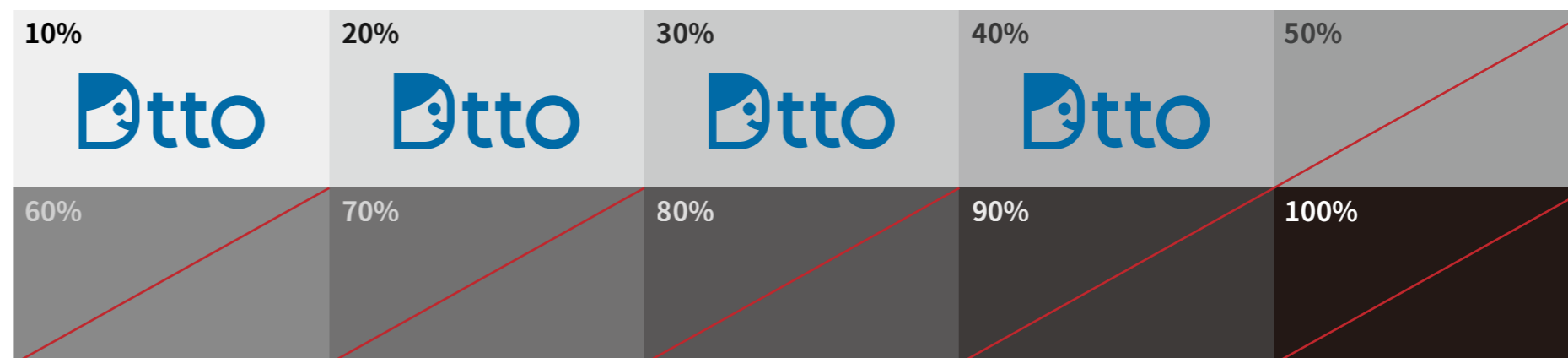
25%

# 06 ログマーク背景明度の規定

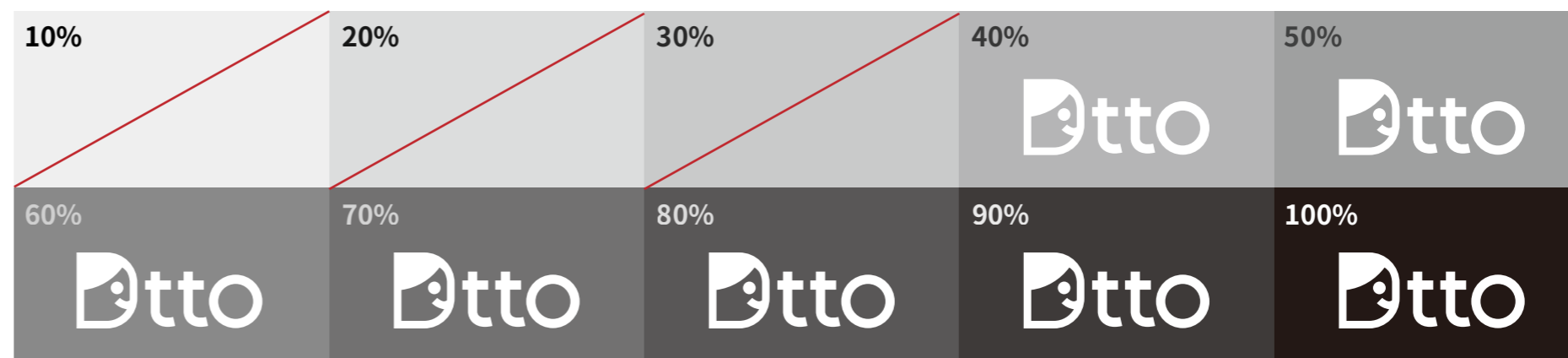
あらゆる状況でログマークの最も良い状態を保つため、違う色の素材や明るさの違うイラストの上で適用する際は、こちらの明度の規格を参考にしてください。ログマークは背景色と混同しやすいので、ブランドが正しく認識されなくなる恐れがあります。

黒の割合が30%未満の暗さの場合は標準色のログマークを、50%以上の場合は白色のログマークを使用してください。

## A. ログマーク背景明度の規定



## B. ログマーク白



# 07 ロゴマーク背景の規定

あらゆる状況でロゴマークの最も良い状態を保つため、違う色の素材や明るさの違うイラストの上で適用する際は、こちらの明度の規格を参考にしてください。ロゴマークは背景色と混同しやすいので、ブランドが正しく認識されなくなる恐れがあります。

薄い色が背景の時は標準色のロゴマークの使用が可能です。背景が濃い色またはロゴマークの反対色の場合は、白色のロゴマークを使用してください。

## A. 標準ロゴマーク



## B. ロゴマーク白





# 08 ロゴマークの詳細規定

Dtto のロゴマークは必ず統一しなければなりません。どのような変更もブランドイメージに影響が出てしまうので、このページの例のような適用は一切禁止しております。



角度をむやみに変えない



形をむやみに変えない



マークに線をいれない



グラデーションカラーをいれない



方向を変えない



枠線を使用しない



デザインを加工しない



文字間の距離を変えない



マークの周りに文字をいれない

# 09 Dtto の名称の正しい書き方

文章等を書く際、Dtto について言及する際は、頭文字は大文字、それ以外は小文字、そして前後は1マスずつ空け、Dtto の文字が見えづらくなならないようにしてください。

## A. 正しい書き方

若者は皆 Dtto で話し合う



## B. 間違った書き方

若者は皆 DTto で話し合う



大文字表記は頭文字のみ

若者は皆 D-tto で話し合う



文字間に記号をいれない

若者は皆Dttoで話し合う



Dtto の前後は1マスずつあけること

若者は皆 dtto で話し合う



頭文字は大文字にすること

若者は皆 Diitto で話し合う



母音の打ち間違いに注意すること